

## VI. 設備投資動向

設備投資の有無

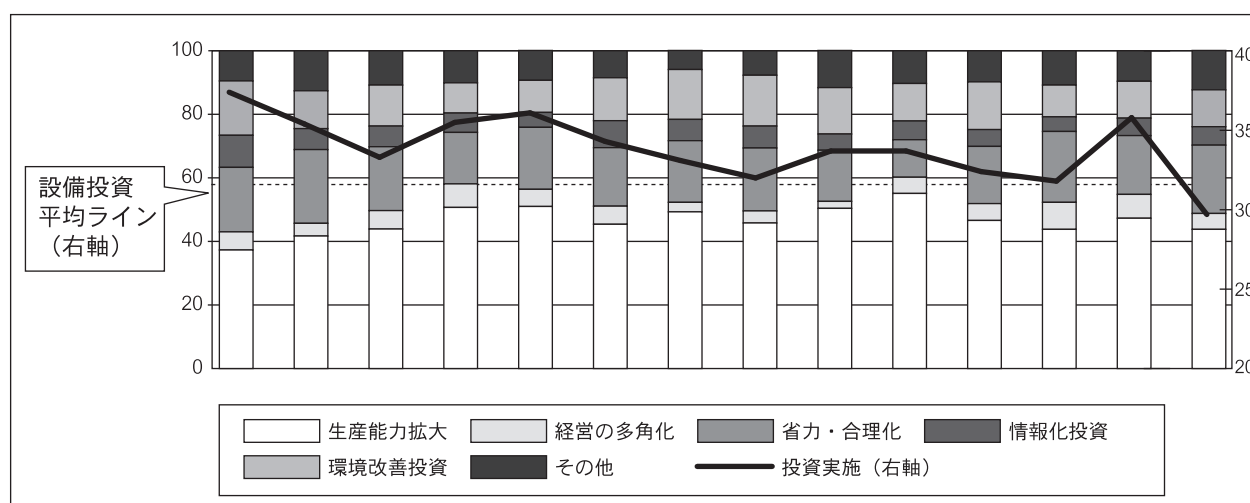
(%) 見込 予測

期別 種別	16年			17年			18年			19年				
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
投資実施	37.4	35.4	33.3	35.5	36.1	34.3	33.1	32.0	33.7	33.7	32.4	31.8	35.8	29.7
投資せず	62.6	64.6	66.7	64.5	63.9	65.7	66.9	68.0	66.3	66.3	67.6	68.2	64.2	70.3

設備投資の目的（実施先について）

(%)

生産能力拡大	37.3	41.7	43.9	50.7	51.0	45.4	49.3	45.8	50.4	55.1	46.6	43.8	47.3	43.8
経営の多角化	5.7	4.0	5.8	7.4	5.4	5.7	3.0	3.8	2.2	5.1	5.3	8.5	7.5	5.0
省力・合理化	20.3	23.2	20.1	16.2	19.5	18.4	19.4	19.8	16.1	11.8	18.0	22.3	18.5	21.5
情報化投資	10.1	6.6	6.5	6.1	4.7	8.5	6.7	6.9	5.1	5.9	5.3	4.6	5.5	5.8
環境改善投資	17.1	11.9	12.9	9.5	10.1	13.5	15.7	16.0	14.6	11.8	15.0	10.0	11.6	11.6
その他	9.5	12.6	10.8	10.1	9.4	8.5	6.0	7.7	11.7	10.3	9.8	10.8	9.6	12.4



- (1) 19年1～3月に設備投資を実施した企業は全産業の31.8%であり、15期連続で30%を上回った。19年1～3月期実績を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は39.8%、非製造業は24.8%となっている。

19年1～3月期に設備投資を実施した企業の投資目的は、生産・販売能力拡大が43.8%でトップ、省力・合理化投資が前期比4.3ポイント増の22.3%で続いた。

- (2) 19年4～6月期に設備投資を予定している企業は全体の35.8%で、予定企業が増加している。

設備投資の目的では生産能力拡大が多く、次に省力・合理化投資とする傾向にある。

- (3) 19年1～3月期において設備投資実施企業の割合が50%を超えたのは、医薬品製造・電子部品製造・不動産であった。また、4～6月期見込では、50%を超える業種は電子部品製造プラスチック・出版印刷紙加工・百貨店スーパー小売・不動産と増加している。